



Press Release
報道関係者各位

2016年12月19日
株式会社 吉安

世界遺産に登録された“和食”の定義は？ 答えられない日本人に危機感もつ
「お金で買えない和の食文化を見直して欲しい」 創業80年の金物問屋社長が一念発起！

画一的でつまらなくなったキッチン売り場を面白く 老舗卸問屋だから可能な品揃え キッチン道具屋「金山新吉」で新たなショップ展開を構築

家庭用台所用品及び関連用品総合卸、企画の株式会社吉安(本社:東京都足立区、代表取締役:佐藤和成)は、キッチン道具屋「金山新吉」を現在全国で7店舗を展開しています。

「金山新吉」は、昔懐かしいカルメ焼き器や亀の子束子など、日本の食文化をつかさどってきた道具はじめ新旧取り混ぜた多種多様な商品を取り揃え、店舗に陳列していない商品も含めると10,000点を取り扱っています。一見非効率で、時代に逆行しているかにも感じる展開は、売れ筋を優先するあまり画一化され面白味がなくなってしまったキッチン売り場に新風を吹き込んでいます。



株式会社吉安 代表取締役社長 佐藤和成(61歳)

1955年3月10日生まれ(A型)福岡県出身。

【略歴】1986年、現会長の長女と結婚後、株式会社吉安入社。物流管理、営業、システム、企画、経理、財務等を経て2005年4月、代表取締役社長に就任。現在に至る。聞きかじりではなく、自分で見聞きするがモットー。日本酒とラーメンについては一過言を持っている。

■日本の食文化を支える「金山新吉」

「金山新吉」の店内には、鍋・釜・たわしなどが雑多にぶら下がり、昔どこかで見たものや懐かしいものがゴロゴロとある、道具街・合羽橋をイメージした店舗で、道具を見つける楽しさと面白さを追求した店作りです。商品にはレシピや使い方のマニュアルがセットになっている商品も置いており、このツールがきっかけで、お客さまとスタッフと対話が生まれ、「探し求めていたものが見つかった」「こういう道具が欲しかった」など、好評をいただいています。



「金山新吉」みなとみらい店<店舗イメージ>

■世の中に出にくい道具を紹介していく それは老舗の金物卸問屋だから可能な事

「金山新吉」には、お玉1つとっても、常に20種類近くもの商品を置いています。効率が悪いようにも感じる商品構成ですが、それは、代表佐藤の金物卸問屋を通し、日本の食文化を継承していかなければいけない強いミッションを持っているからです。2014年に和食が世界文化遺産に登録されたものの、和食の定義について明確に答えられる日本人はほとんどいません。登録されたのは“食”ではなく、“食に関する習慣”です。

今、キッチン用具売り場は、効率のみが優先され、月に1個、2個しか売れないものは排除され、結果どこの売り場も画一的で面白味のないものになってしまいました。片や燕三条など小規模な工場で作られ続けている道具があります。これらを世の中に紹介していく場がなければ、結果食に関する習慣も文化も継承されなくなってしまいます。

■食文化は触れてこそ伝承されるもの

政府は1億総活躍を謳い、グローバル社会をめざす一方、佐藤は日本の食文化も継承すべきではないかと感じています。食文化は、ただ与えられるものだけで理解できるものではなく、実際触れて使っていかなければ伝承されません。食文化にもっと触れていく機会が多くならなければ、日本の食文化が廃れていくのではないかと危機感を持っています。以前、日本の家庭では、



1つのアイテムとっても多彩な商品展開「金山新吉」『みなとみらい店』<店舗イメージ>



鯉節も胡麻和え用の胡麻も使う分だけ下ごしらえをし、それぞれ専用の道具を用いていました。その道具を使うひと工夫で家庭料理が“逸品”に変わるそれらの道具類は、かつては日本のどの家庭にもありました。しかし、今では利便性が追及され、その料理を作るための道具すらわからない人が多くなっています。日本の食文化を継承し、未来に伝えていくためにも、日本食を支える道具の存在を忘れてはいけません。

「金山新吉」『みなとみらい店』<店舗イメージ>

■遊びと余裕がなくなったキッチン売り場に渴！

キッチン道具屋の特長は、様々な商品の中から意外なものを見つける楽しさにあります。決して伝統工芸品的なものではなく、生活の中に普通にあってよいが紹介されにくい道具を世の中に出し、消費者にこんな道具があったんだと、見つける楽しさや、使う楽しさを知ってもらう機会を作ることは、キッチン道具屋でしか出来ないことです。それならばやってみようとして「金山新吉」を始めました。佐藤は「金山新吉」を通し、日本の食文化を広く伝える“たかが道具屋、されど道具屋”として、自国の食文化の伝統を支えていく、強い意思を持っています。

■今後の展開

キッチン道具屋「金山新吉」は、商いの原点に立ち返り、販売員の教育に力を入れ、レシピや使い方マニュアルを付けた商品のアイテム数を増やし、お客様と道具を通して対話が成り立つ店舗作りを目指します。また、「金山新吉」のオリジナル商品の展開数も増やす予定です。

■「金山新吉」店舗一覧

・京王百貨店新宿店

住所:東京都新宿区西新宿1-1-4 京王百貨店新宿店6F TEL. 03-3342-2111

・多摩センター店

住所:東京都多摩市落合 1-46-1 多摩センター三越 BF1 TEL. 042-400-7535

・みなとみらい店

住所:神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-5 マークイズミナトミライ B1F TEL. 045-319-6786

・イオンモール福津店

住所:福岡県福津市 793 イオンモール福津 1F TEL. 0940-72-1871

・聖蹟桜ヶ丘店

住所:東京都多摩市関戸 1-11-1 京王聖蹟桜ヶ丘 S.C.A館 5F TEL. 042-337-2609

・藤沢店

住所:神奈川県藤沢市藤沢 555 番地 さいか屋 藤沢 6F TEL. 046-641-9712

・博多マルイ店

住所:福岡市博多区博多駅中央 9-1 5階 TEL. 092-577-1733

■会社概要

- 社名 株式会社 吉安
- 代表取締役社長 佐藤和成
- 本社所在地 東京都足立区千住関屋町 8-12
TEL 03-3882-2381(代表) FAX 03-3888-7899
- ホームページ <http://www.yosiyasu.co.jp/>
- 設立 昭和 8 年 10 月 1 日
- 資本金 5700 万円
- 事業内容 家庭台所用品及び関連用品総合卸、企画

<本件に関するお問い合わせ先>
吉安広報事務局 担当:新保(しんぼ)
TEL:03-5411-0066 FAX:03-3401-7788
携帯:080-9874-4858 メール:pr@real-ize.com